

証券コード：6841  
横河電機株式会社

2025年3月期 第2四半期 決算説明会

2024年11月5日

# 目次

## 1. 2025年3月期 第2四半期 連結決算の概要 P. 3

取締役 執行役 経理財務本部長 中嶋 倫子

## 2. 決算補足資料 P. 19

四半期別実績／営業外・特別損益／受注残推移／制御ビジネス規模別受注推移  
研究開発費・減価償却費・設備投資／貸借対照表／株価の状況

## 3. 現状認識 P. 30

### 「Growth for Sustainability 2028」取り組みの状況 P. 32

取締役 代表執行役社長 奈良 寿

# 2025年3月期 第2四半期 連結決算の概要

対象期間：2024年4月1日～2024年9月30日

中嶋 倫子

取締役 執行役 経理財務本部長

2024年11月5日

## ■ 第2四半期実績：主に為替の変動影響により、増収増益

### サマリー

- 受注は、増加（除・為替影響：+132億円、+4.9%）
- 売上は、増加（除・為替影響：+19億円、+0.7%）
- 営業利益は、増益（除・為替影響：▲21億円、▲6.3%）
- 中間純利益は、主に前年同期に投資有価証券売却益を計上した反動により減益

### セグメント別

- 制御 増収増益（除・為替影響：受注+4.2%、売上+2.1%）
- 測定器 減収減益（除・為替影響：受注+14.7%、売上▲15.8%）
- 新事業他 前年同期並み

## ■ 通期業績予想：受注のみ上方修正

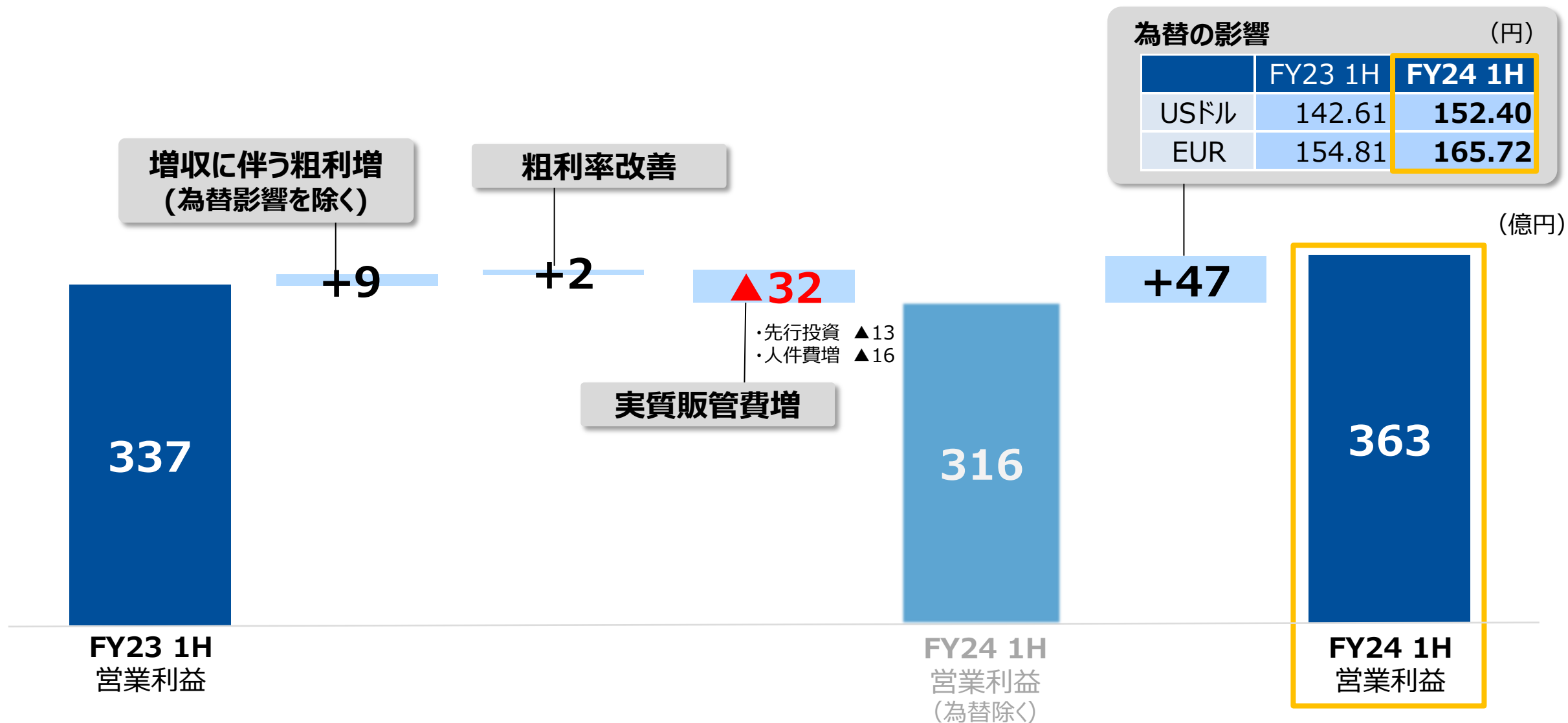
# 決算サマリー（前年同期比）

- ◆受注・売上：受注は**増加**（除・為替影響：+132億円、+4.9%）  
売上は**増加**（除・為替影響：+19億円、+0.7%）
- ◆営業利益：営業利益は**増益**（除・為替影響：▲21億円、▲6.3%）
- ◆中間純利益：中間純利益は、主に前年同期に投資有価証券売却益を計上した反動により**減益**

（億円）

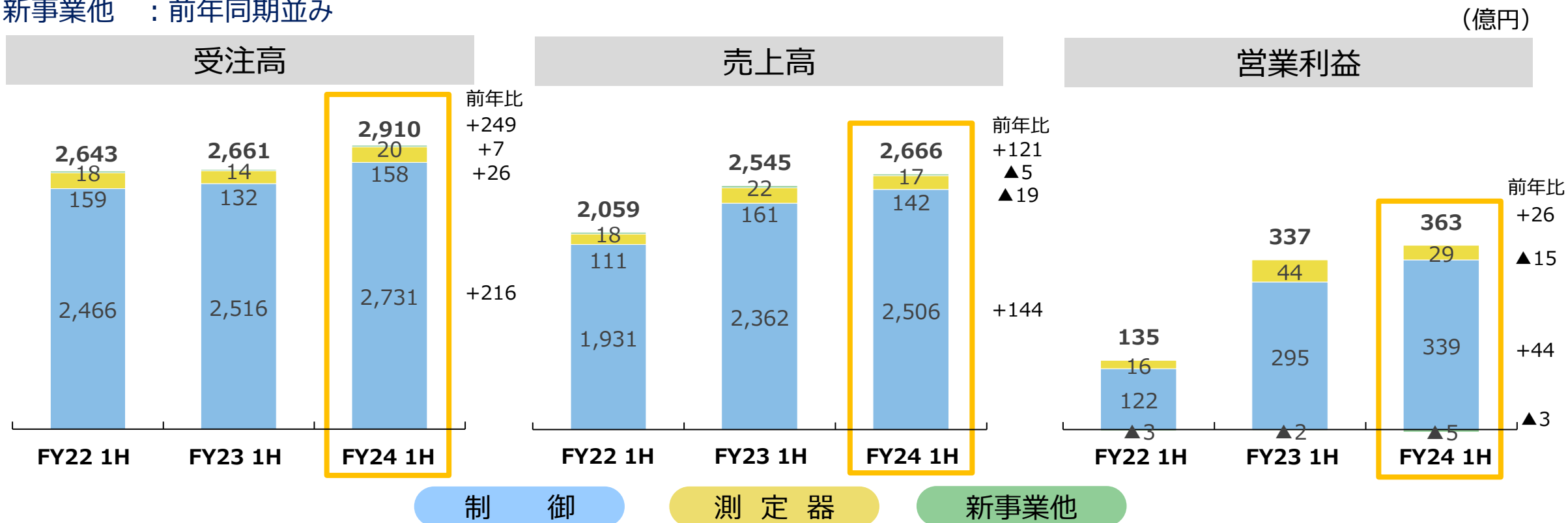
	FY23 1H	FY24 1H	差異	増減率	為替影響
受注高	2,661	<b>2,910</b>	+249	+9.3%	+117
売上高	2,545	<b>2,666</b>	+121	+4.7%	+102
営業利益	337	<b>363</b>	+26	+7.7%	+47
R O S ( % )	13.2	<b>13.6</b>	+0.4pt	—	—
経常利益	371	<b>359</b>	▲12	▲3.2%	+51
親会社株主に帰属 する中間純利益	351	<b>246</b>	▲105	▲29.9%	+47
為替レート 1米ドル=	142.61円	<b>152.40円</b>	+9.79円	—	—

# 営業利益分析（前年同期比）



# セグメント別 受注・売上・営業利益

- ◆制御事業 : 受注は増加。(除・為替影響 : 受注 +106億円 +4.2%)  
 売上は増加。(除・為替影響 : 売上 +50億円 +2.1%)  
 営業利益は増益。(除・為替影響 : +6億円 +2.2%)
- ◆測定器事業 : 受注は増加。売上は前年の受注残消化の反動で減少 (除・為替影響 : 受注+19億円 +14.7%、売上▲26億円 ▲15.8%)  
 営業利益は売上減少に伴い減益 (除・為替影響 : ▲24億円、▲55.1%)
- ◆新事業他 : 前年同期並み



# 制御地域別 受注・売上高

◆受注は、中東・アフリカが好調。中国は引続き低調。北米は停滞

◆受注：+106億円、+4.2%（除・為替影響） 売上：+50億円、+2.1%（除・為替影響）

（億円）

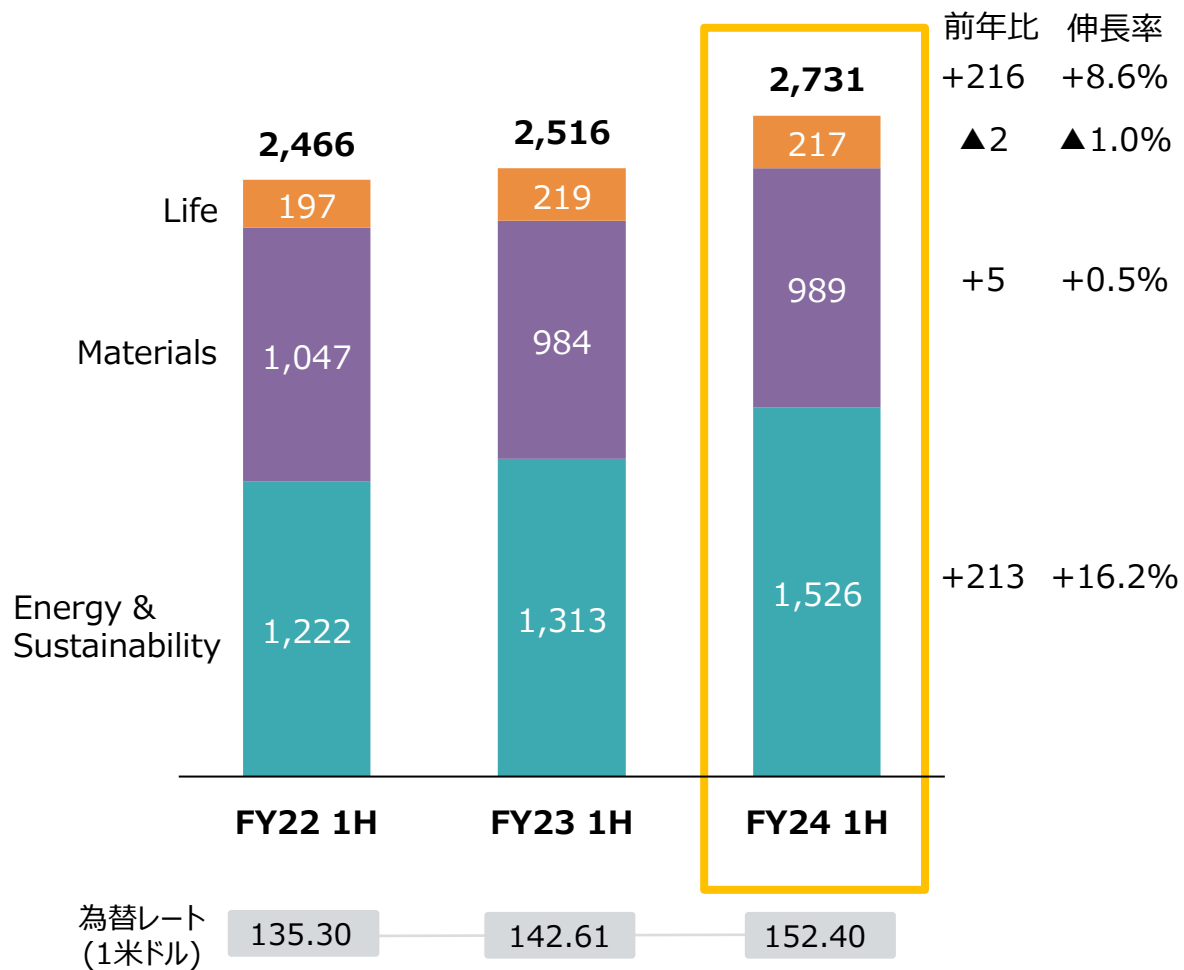
受注高	FY23 1H (A)	FY24 1H (B)	前年同期比 (B-A)
日本	611	662	+50
アジア	914	872	▲42
（東南アジア・ 極東）	(402)	(396)	(▲6)
（中国）	(355)	(312)	(▲43)
（インド）	(158)	(165)	(+7)
欧州・CIS	213	214	+1
中東・アフリカ	435	692	+257
北米	236	199	▲37
中南米	106	92	▲14
<b>海外小計</b>	<b>1,904</b>	<b>2,070</b>	<b>+166</b>
<b>合計</b>	<b>2,516</b>	<b>2,731</b>	<b>+216</b>
為替レート 1米ドル=	142.61円	152.40円	+9.79円

売上高	FY23 1H (A)	FY24 1H (B)	前年同期比 (B-A)
日本	579	621	+42
アジア	833	880	+47
（東南アジア・ 極東）	(346)	(393)	(+47)
（中国）	(372)	(361)	(▲11)
（インド）	(115)	(126)	(+10)
欧州・CIS	242	250	+8
中東・アフリカ	362	407	+45
北米	247	252	+5
中南米	99	98	▲1
<b>海外小計</b>	<b>1,783</b>	<b>1,885</b>	<b>+102</b>
<b>合計</b>	<b>2,362</b>	<b>2,506</b>	<b>+144</b>
為替レート 1米ドル=	142.61円	152.40円	+9.79円



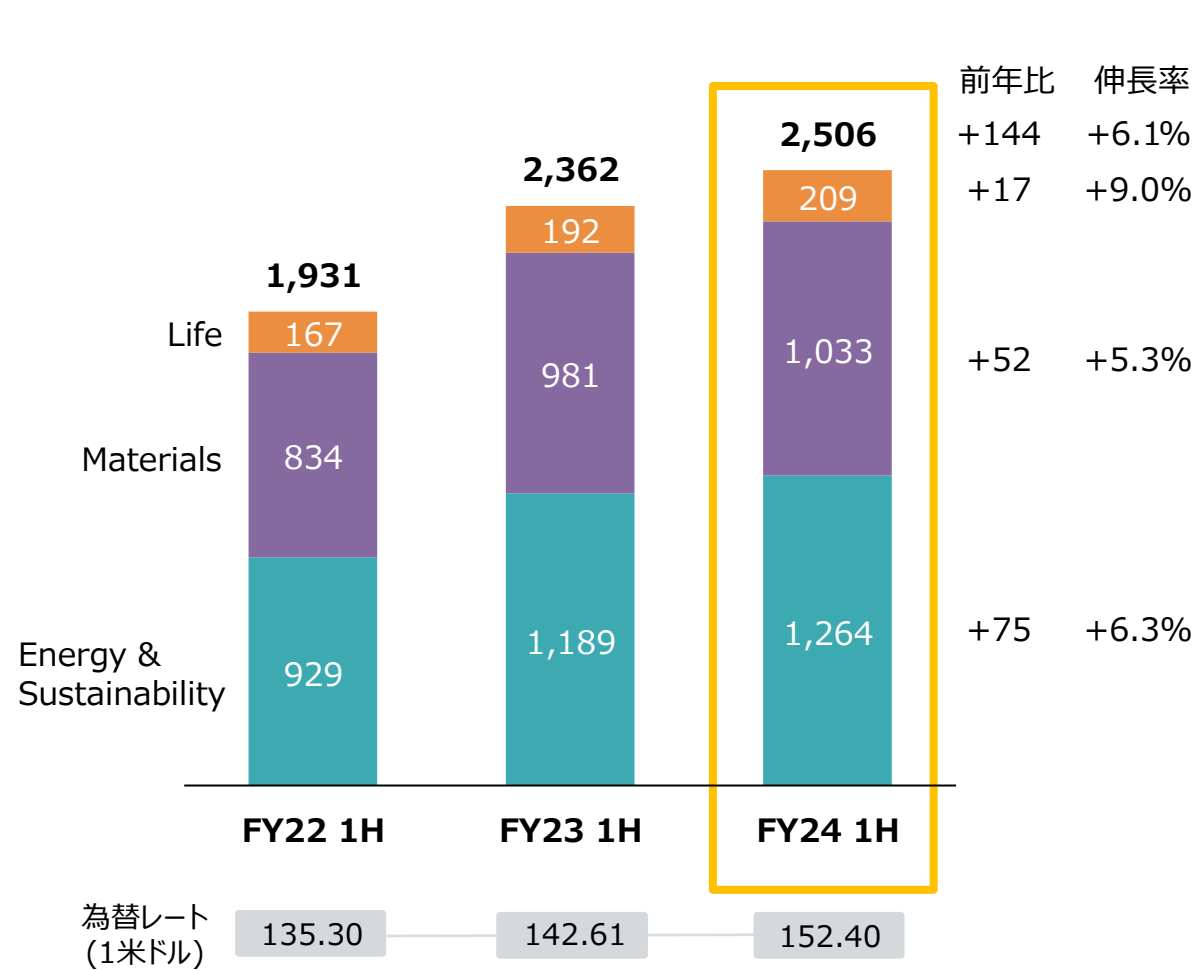
# 制御サブセグメント別 受注・売上高

## 受注高



## 売上高

(億円)

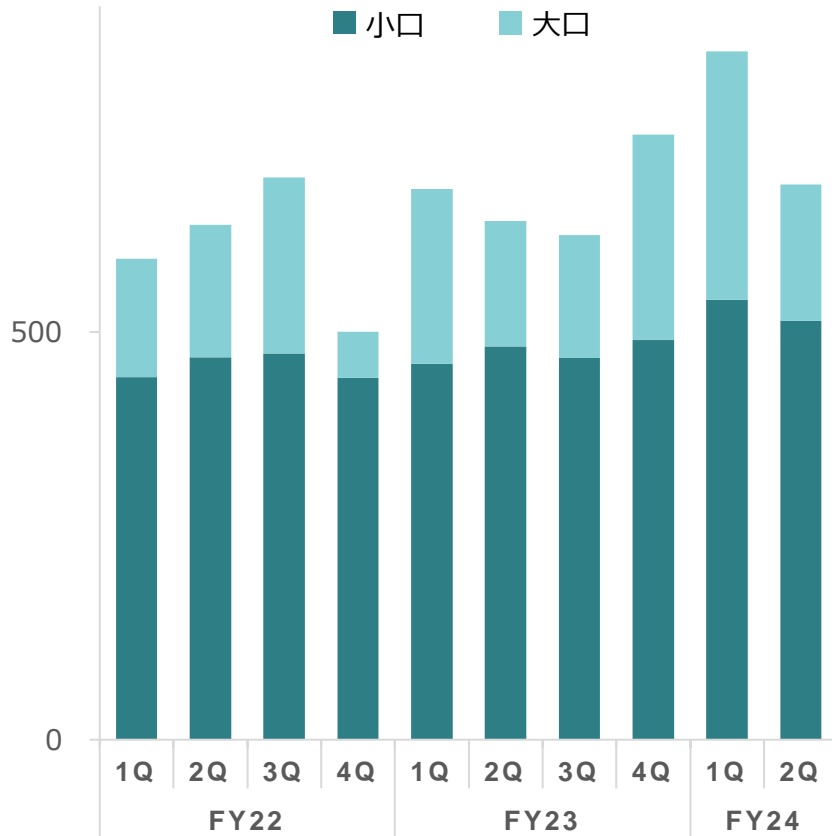


# 制御サブセグメント 規模別受注

(億円)

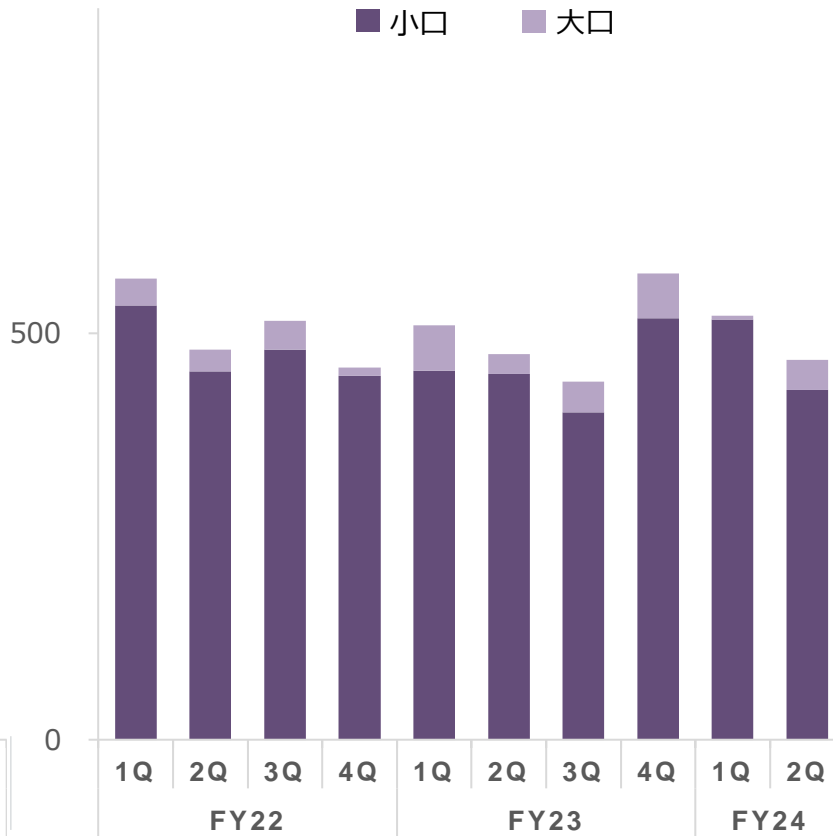
## Energy & Sustainability

■ 小口 ■ 大口



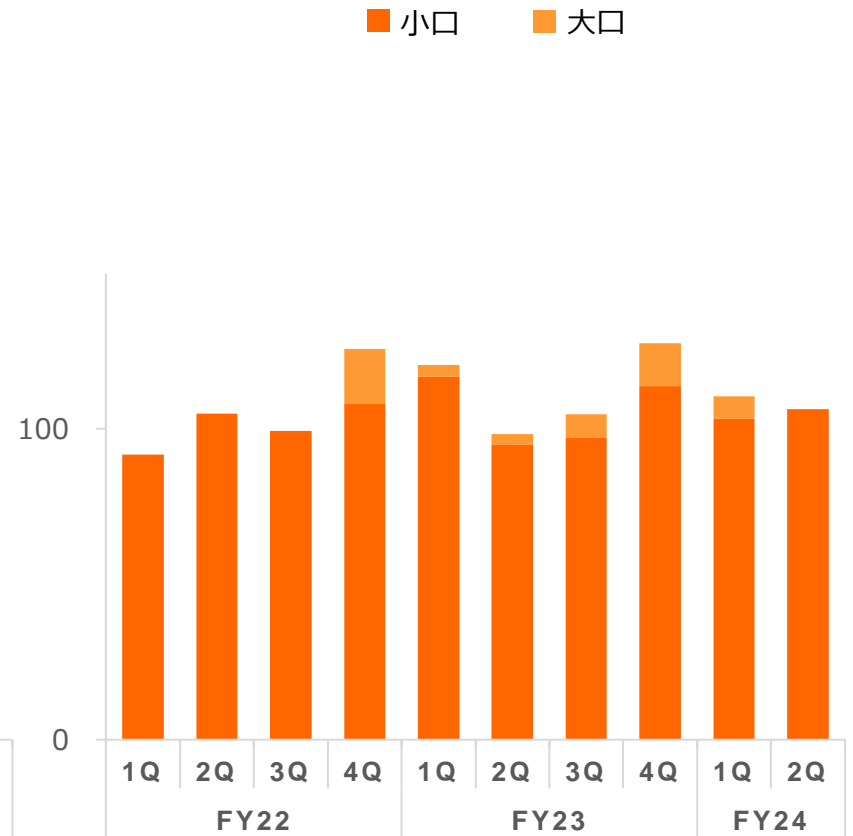
## Materials

■ 小口 ■ 大口



## Life

■ 小口 ■ 大口

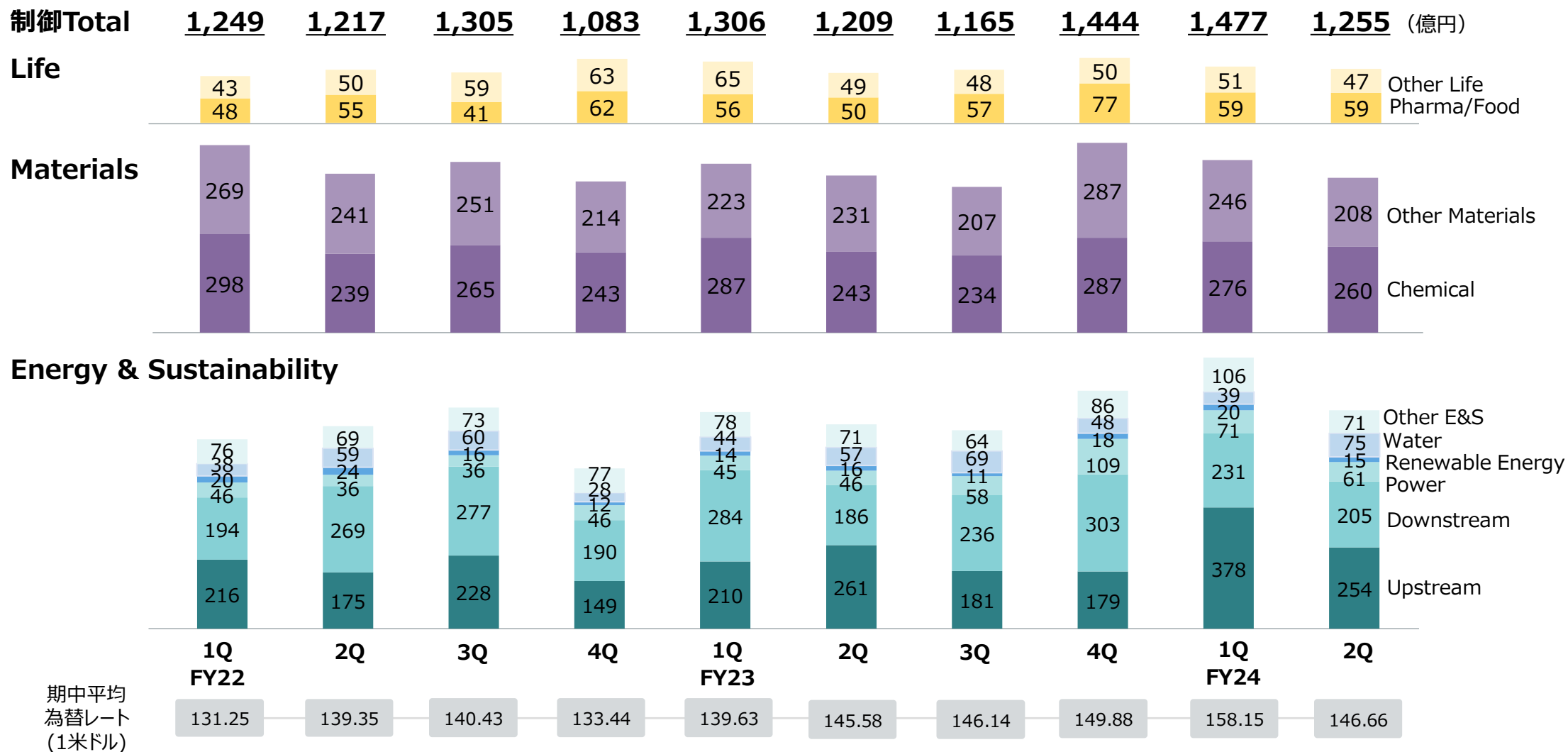


期中平均為替レート (1米ドル)  
131.25 139.35 140.43 133.44 139.63 145.58 146.14 149.88 158.15 146.66

期中平均為替レート (1米ドル)  
131.25 139.35 140.43 133.44 139.63 145.58 146.14 149.88 158.15 146.66

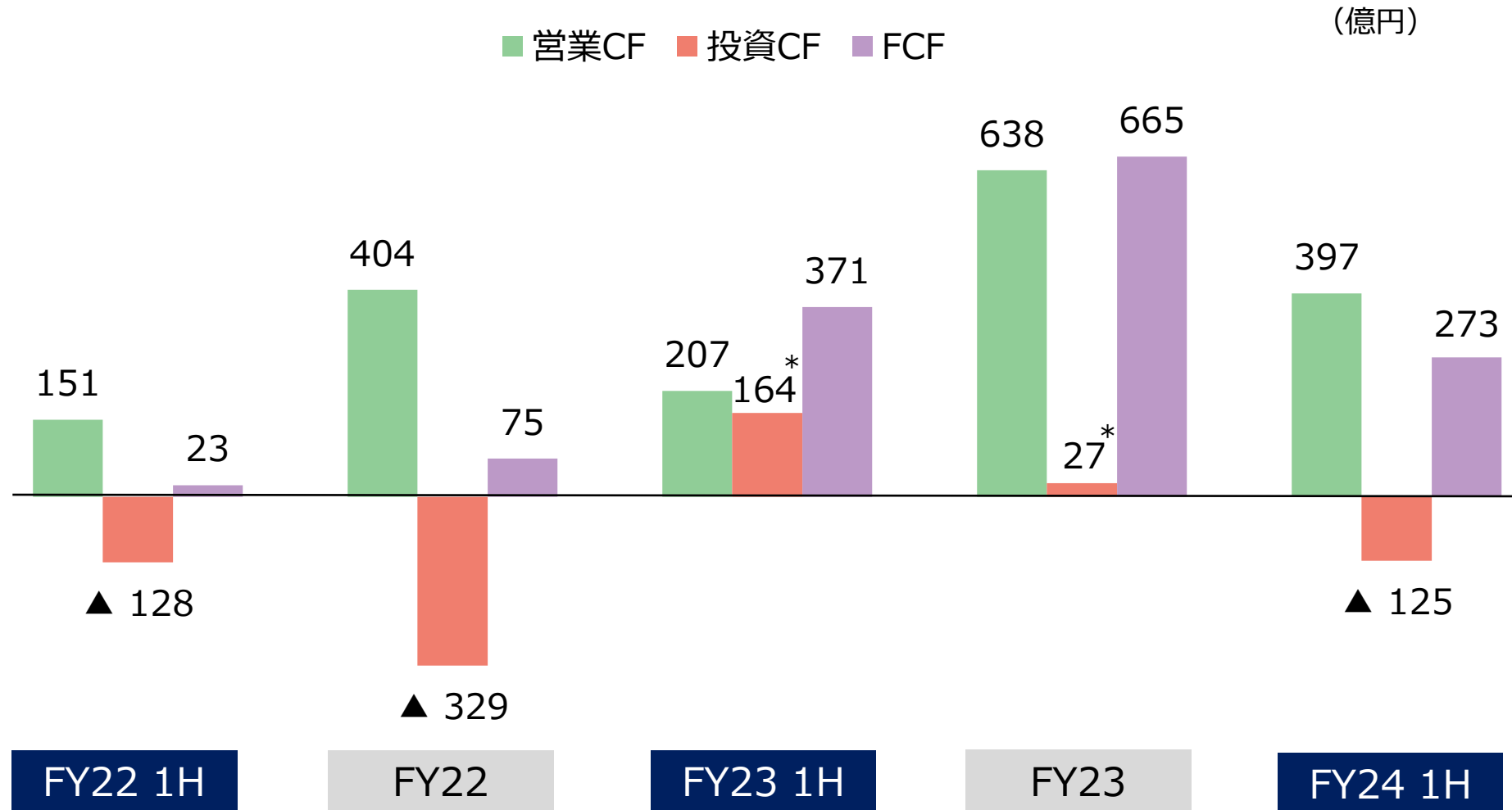
期中平均為替レート (1米ドル)  
131.25 139.35 140.43 133.44 139.63 145.58 146.14 149.88 158.15 146.66

# 制御業種別 受注



※FY24より、水ビジネスはLifeからEnergy & Sustainabilityへ再編しました。  
これに伴いFY22及びFY23の数字も変更しています。

# キャッシュ・フロー



\*大型投資有価証券売却の影響あり

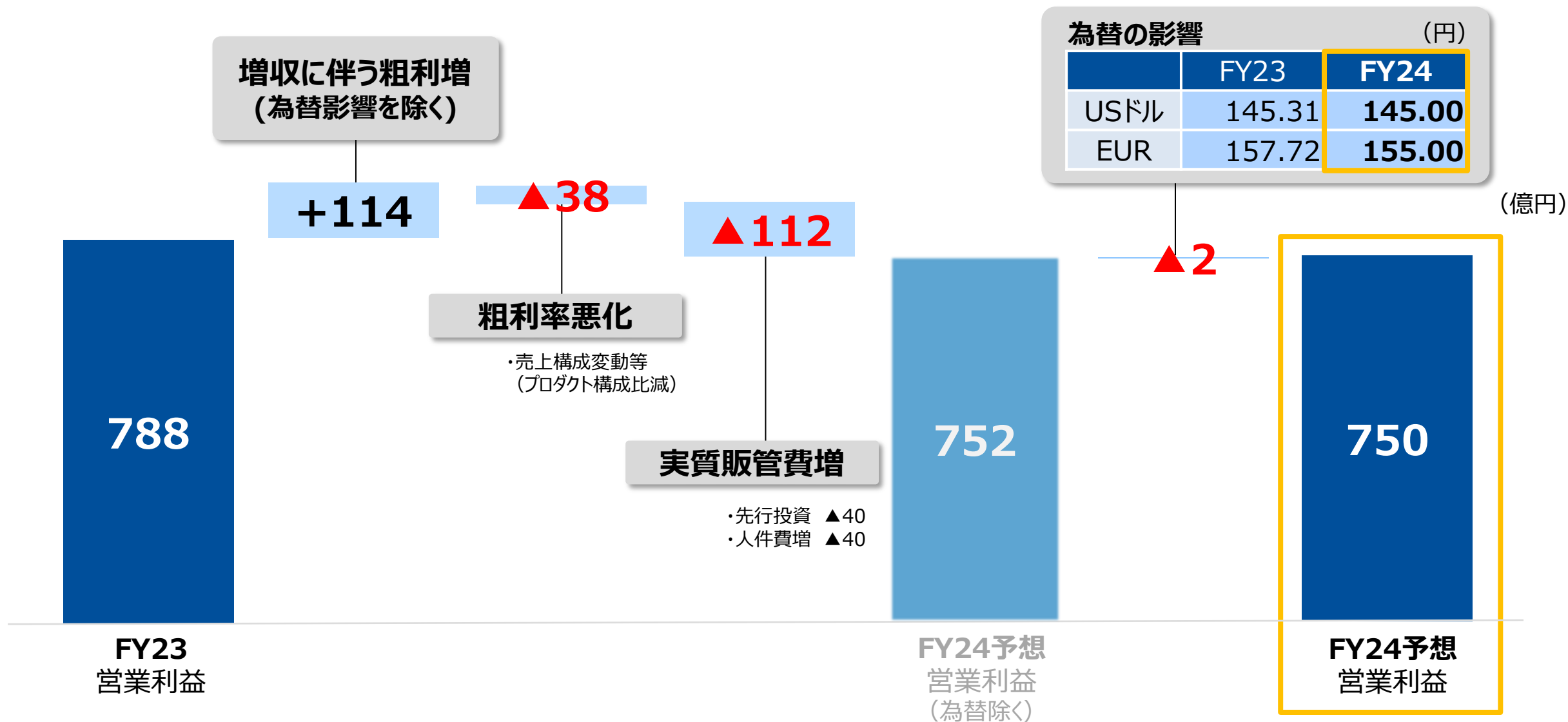
# FY24業績予想（受注のみ修正あり）

◆受注は、上期の実績と今後の見通しを踏まえ上方修正

(億円)

	FY23 (A)	FY24予想 5/7(B)	FY24予想 11/5(C)	前回予想比 (C-B)	前年比 (C-A)	伸長率 (C/A-1)
受注高	5,420	5,650	<b>5,750</b>	+100	+330	+6.1%
売上高	5,402	5,630	<b>5,630</b>	—	+228	+4.2%
営業利益	788	750	<b>750</b>	—	▲38	▲4.8%
R O S ( % )	14.6	13.3	<b>13.3</b>	—	▲1.3pt	—
経常利益	841	750	<b>750</b>	—	▲91	▲10.8%
税引前利益	878	750	<b>750</b>	—	▲128	▲14.5%
法人税等	261	260	<b>260</b>	—	▲1	▲0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	617	490	<b>490</b>	—	▲127	▲20.6%
EPS(円)	234.83	188.35	<b>188.35</b>	—	▲46.48	—
為替レート 1米ドル=	145.31円	145.00円	<b>145.00円</b>	—	▲0.31円	—

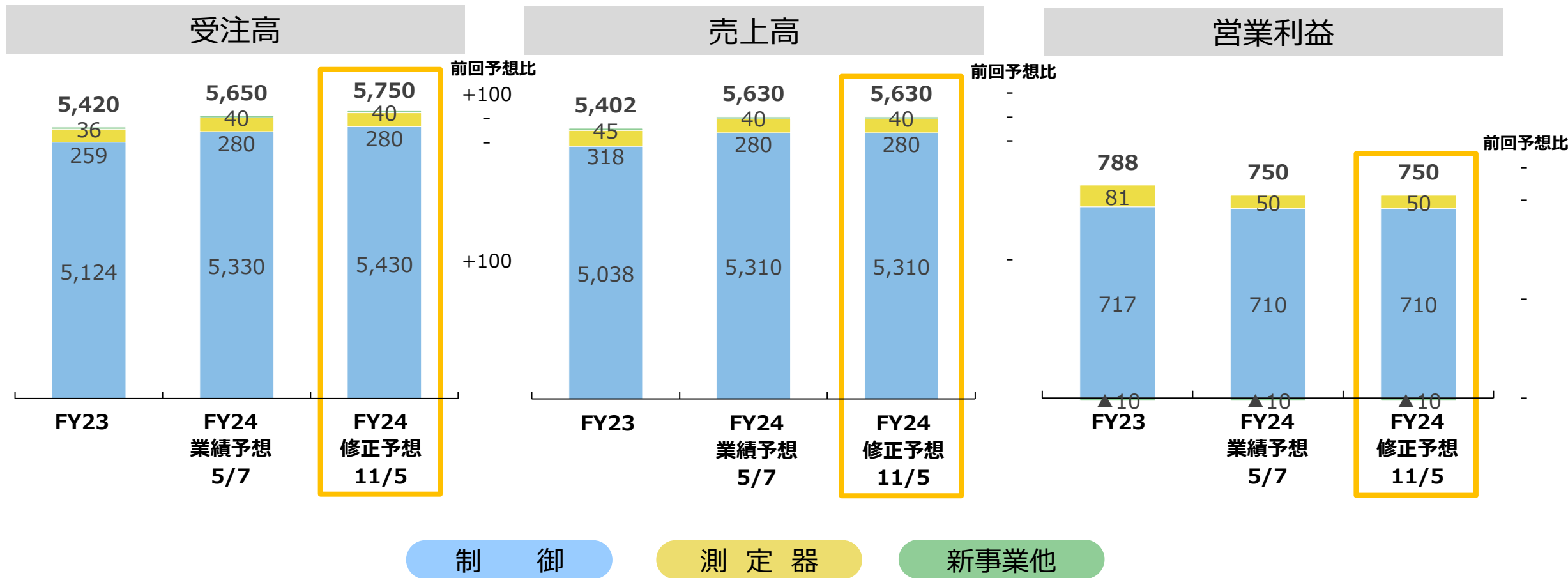
# 営業利益分析 予想（修正なし）



# セグメント別 受注・売上・営業利益 予想（受注のみ修正あり）

◆受注は、上期の実績と今後の見通しを踏まえ上方修正

(億円)



# 制御地域別 受注・売上高 予想（受注のみ修正あり）

◆受注：100億円の上方修正（中東・アフリカ:+250億円、中国:▲60億円、北米:▲60億円、東南アジア・極東:▲30億円）

◆売上：受注予想の修正等を踏まえて地域別内訳を見直し

（億円）

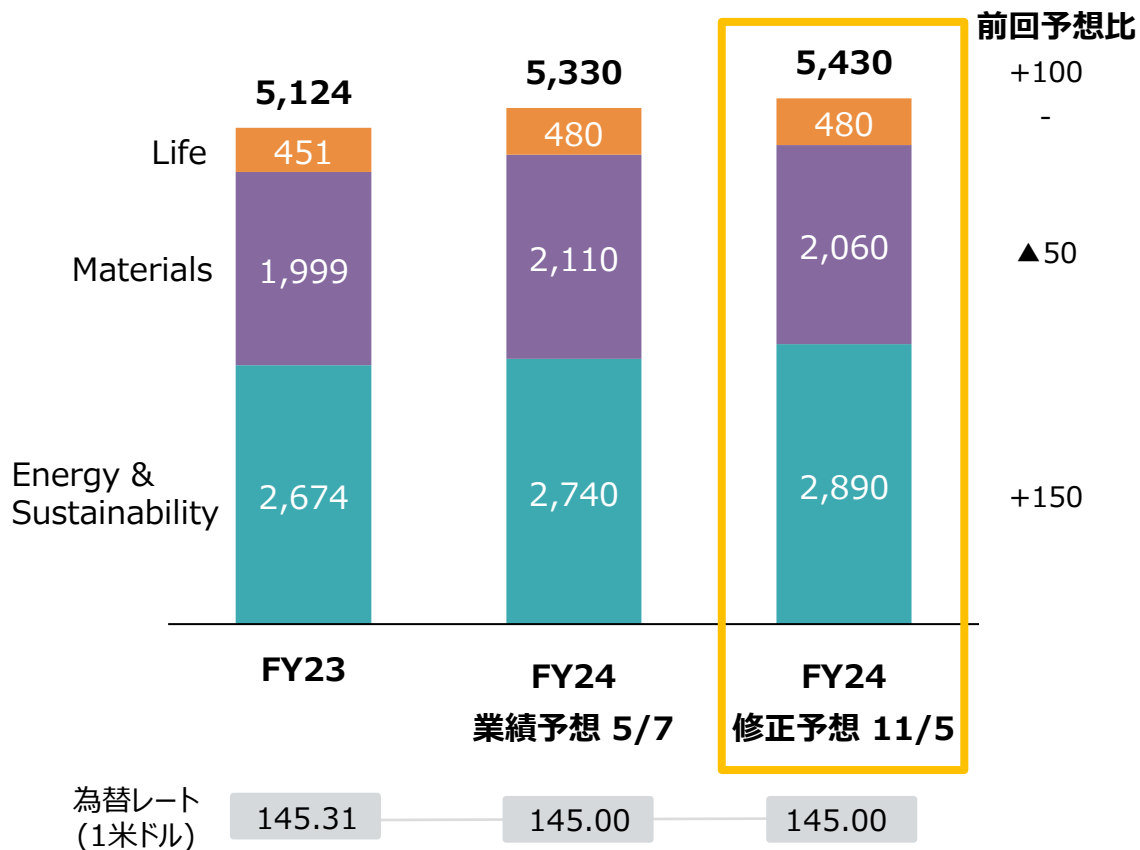
受注高	FY23 (A)	FY24予想 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,345	1,400	+55
アジア	1,756	1,735	▲21
（東南アジア・ 極東）	(796)	(820)	(+24)
（中国）	(659)	(610)	(▲49)
（インド）	(301)	(305)	(+4)
欧州・CIS	525	530	+5
中東・アフリカ	829	1,125	+296
北米	474	440	▲34
中南米	195	200	+5
海外小計	3,780	4,030	+250
合計	5,124	5,430	+306
為替レート 1米ドル=	145.31円	145.00円	▲0.31円

売上高	FY23 (A)	FY24予想 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,290	1,400	+110
アジア	1,742	1,780	+38
（東南アジア・ 極東）	(737)	(790)	(+53)
（中国）	(741)	(690)	(▲51)
（インド）	(264)	(300)	(+36)
欧州・CIS	505	550	+45
中東・アフリカ	829	910	+81
北米	481	470	▲11
中南米	192	200	+8
海外小計	3,749	3,910	+161
合計	5,038	5,310	+272
為替レート 1米ドル=	145.31円	145.00円	▲0.31円



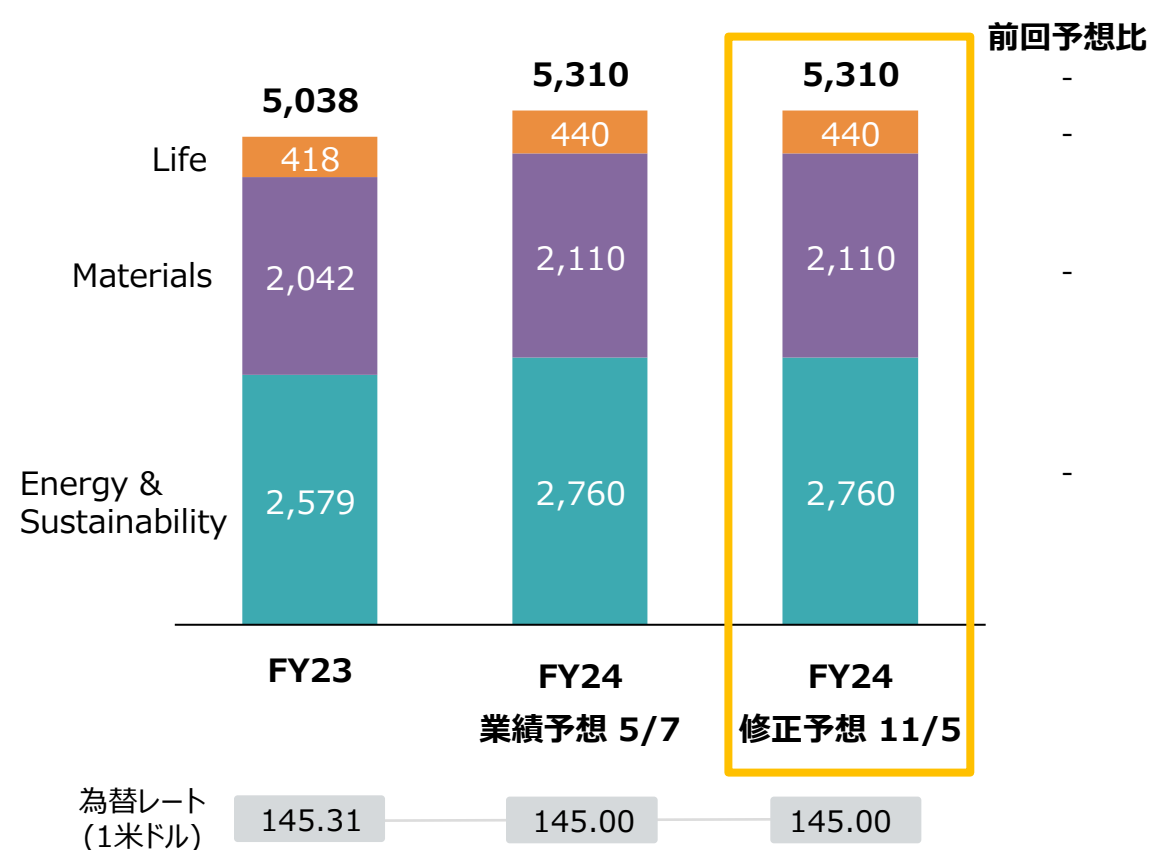
# 制御サブセグメント別 受注・売上高 予想（受注のみ修正あり）

## 受注高



## 売上高

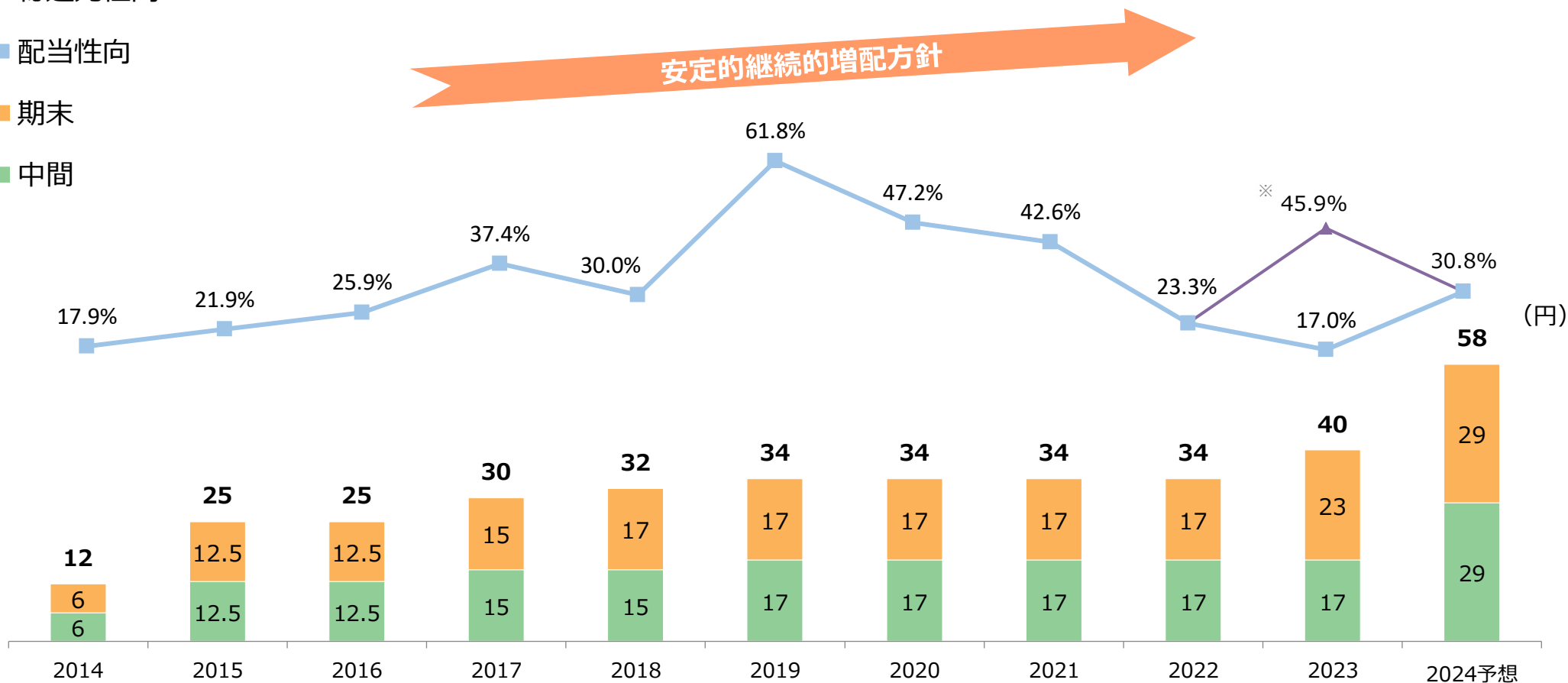
(億円)



# 株主還元

## ◆ FY24中間配当金は29円を決議

- 総還元性向
- 配当性向
- 期末
- 中間



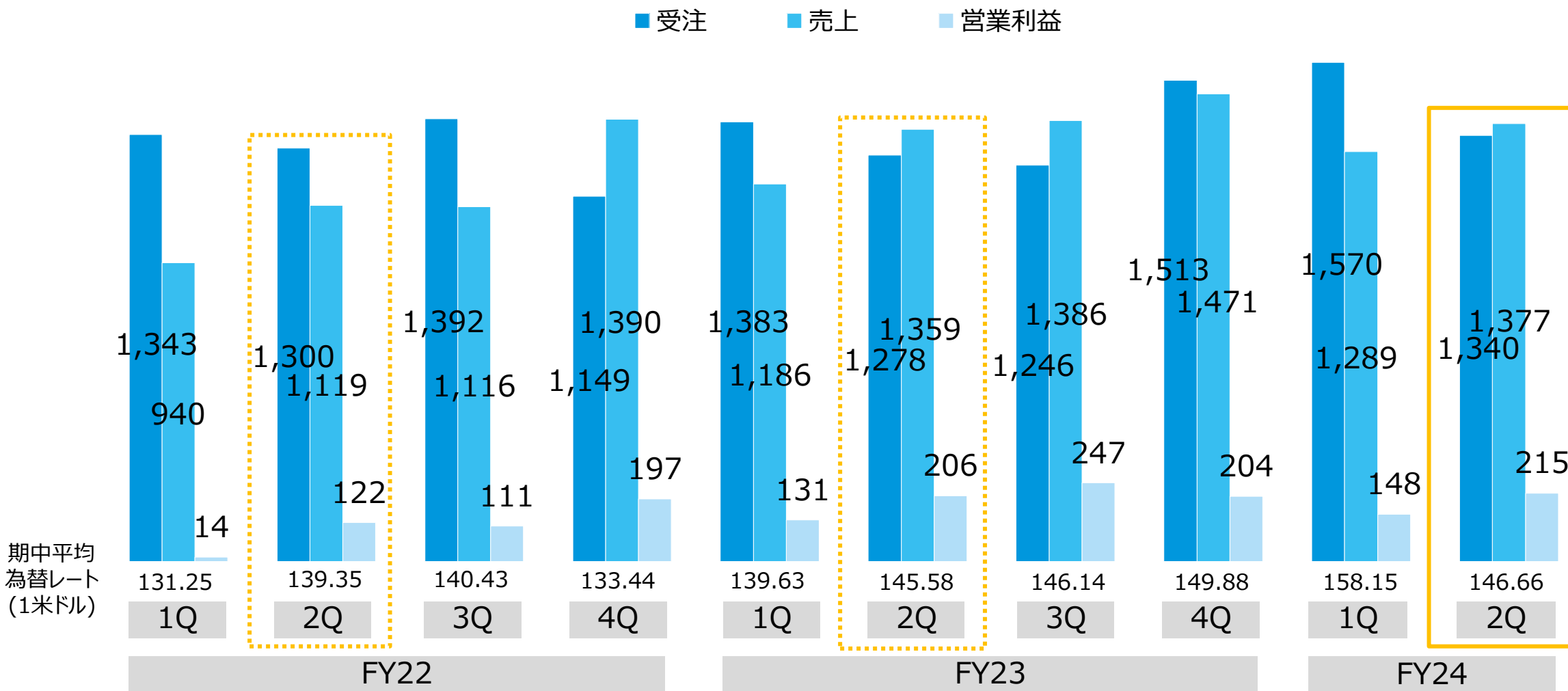
\* 自己株式の取得による還元を含む。

## 決算補足資料

- ・四半期別実績
- ・営業外・特別損益
- ・セグメント別受注残推移
- ・制御サブセグメント別受注残推移
- ・制御ビジネス規模別受注推移
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表
- ・株価の状況

# 補足：四半期別実績

(億円)



# 補足：営業外・特別損益

	FY23 1H	FY24 1H
営業利益	337	363
営業外収益	50	36
営業外費用	16	40
経常利益	371	359
特別利益	165	30
特別損失	61	20
税引前利益	475	370
法人税等	125	124
親会社株主に帰属する 中間純利益	351	246
(税負担率)	21.6%	27.9%

(億円)

## 【特別利益】

FY23 1Q：投資有価証券売却益 165

FY24 2Q：固定資産売却益 28

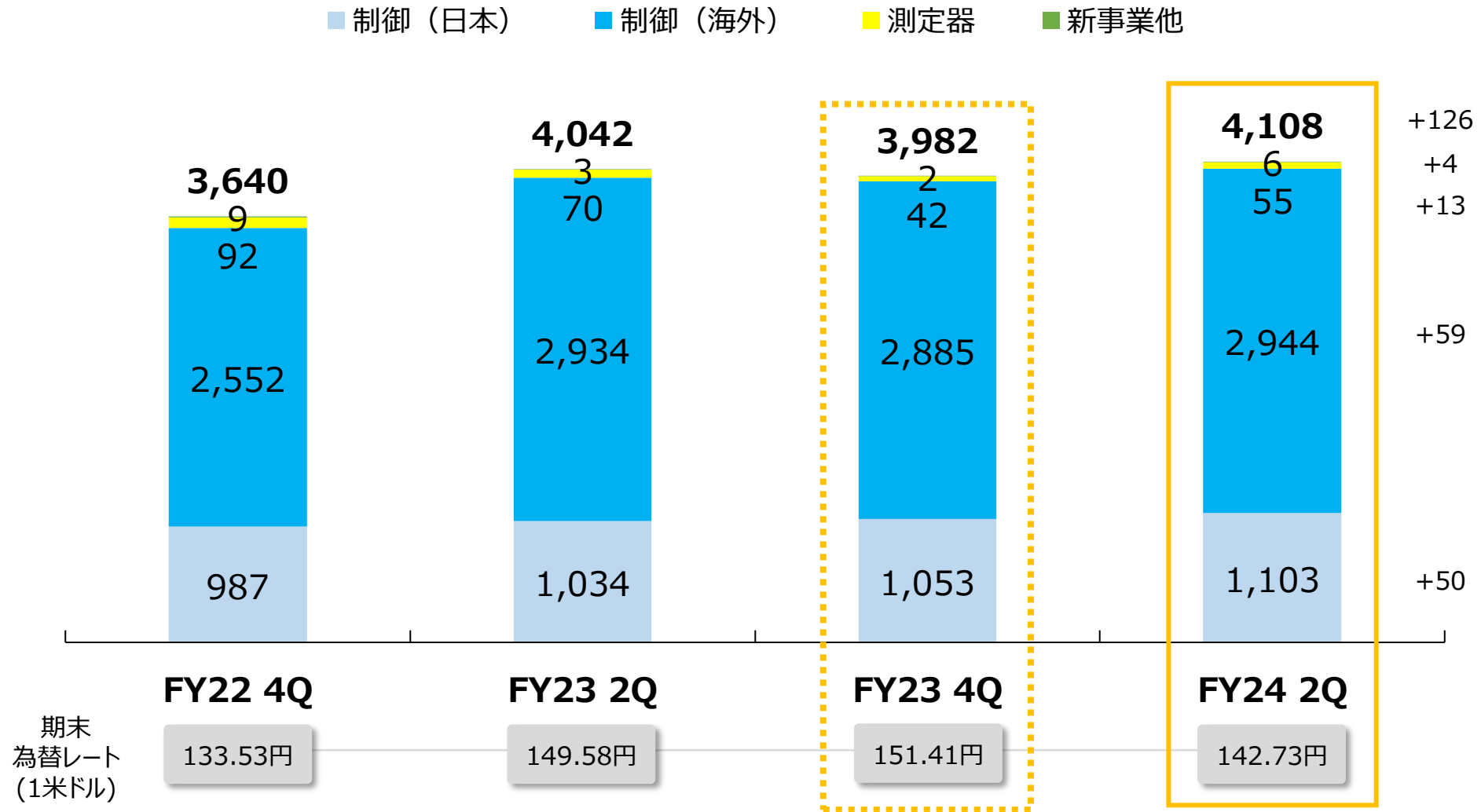
## 【特別損失】

FY23 2Q：減損損失 56

FY24 2Q：固定資産売却損 12

# 補足：セグメント別 受注残推移

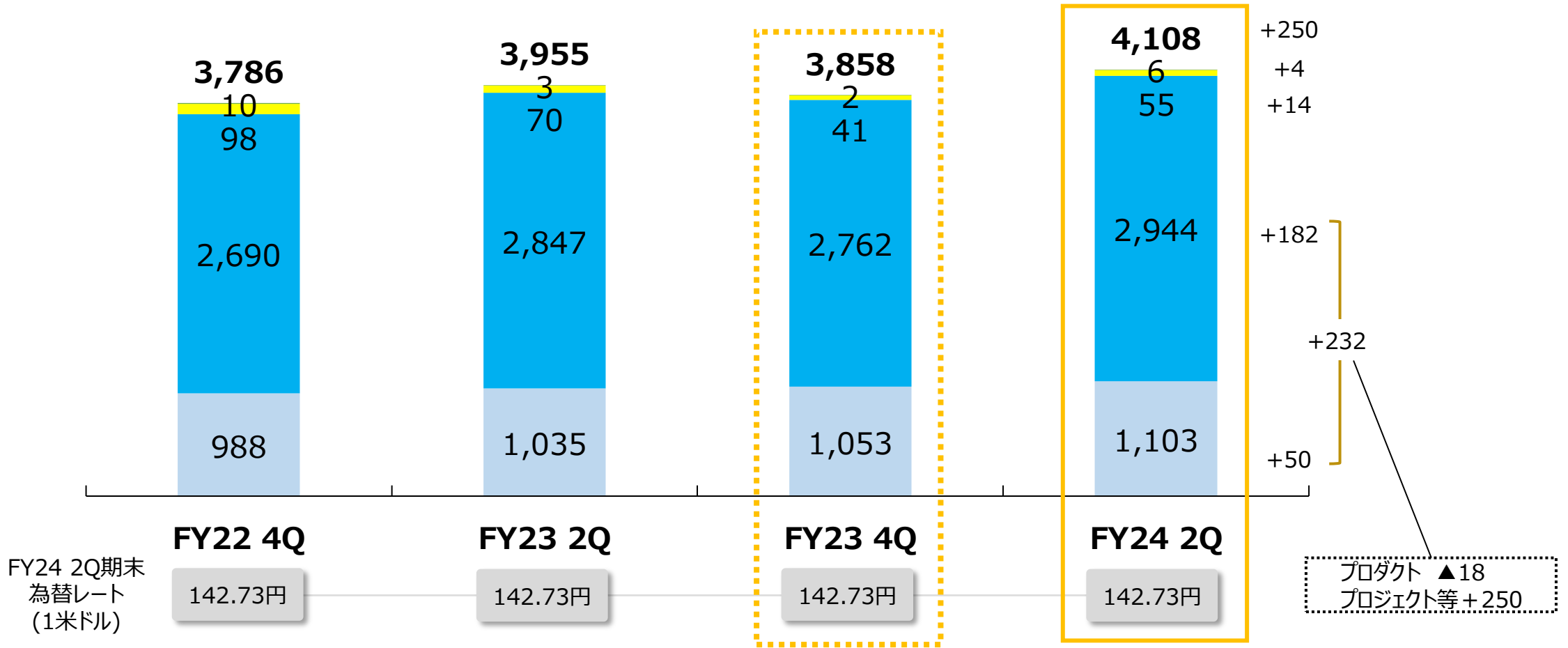
(億円)



# 補足：セグメント別 受注残推移 \* FY24 2Q期末為替レート換算

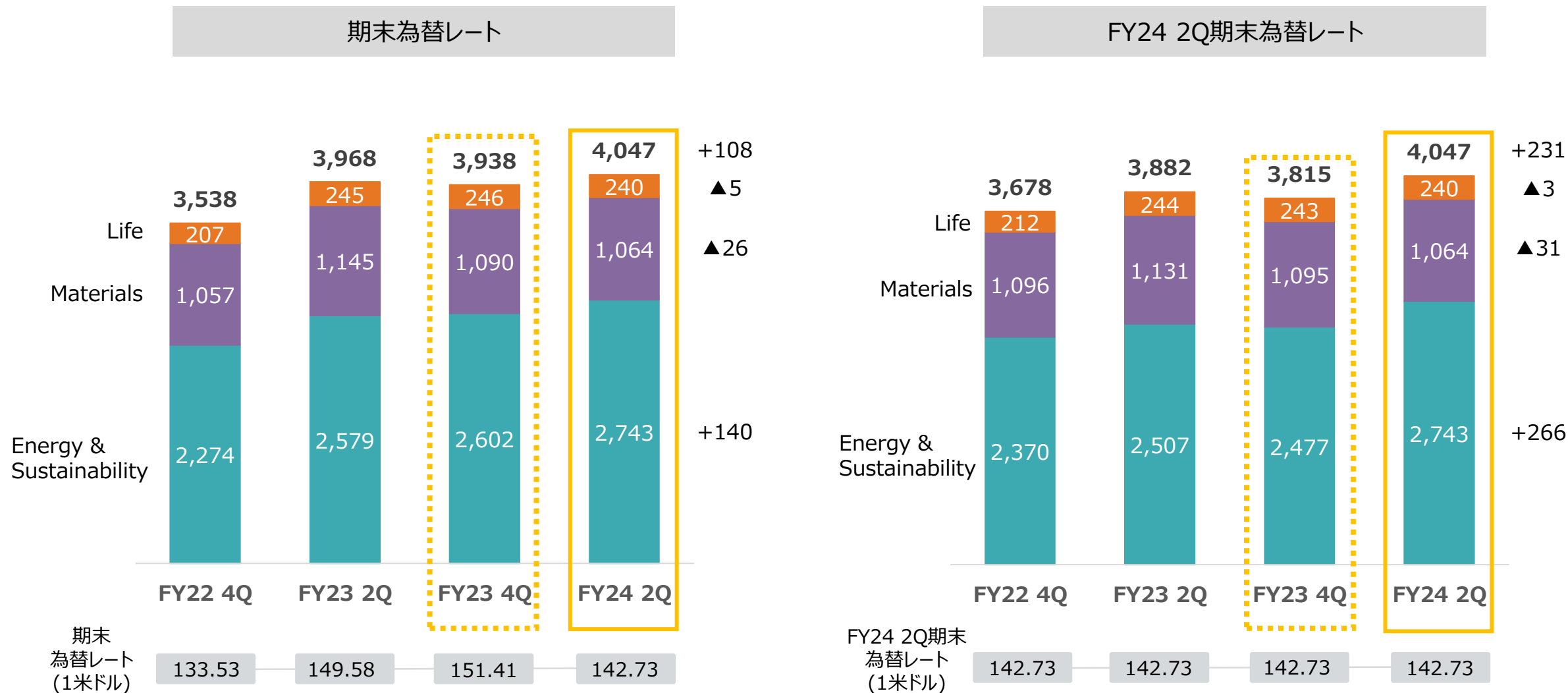
(億円)

■ 制御 (日本)   ■ 制御 (海外)   ■ 測定器   ■ 新事業他



# 補足：制御サブセグメント別 受注残推移

(億円)





# 補足：制御ビジネス規模別 受注推移

約3億円\*以上の大口比率は10~15%程度のみ

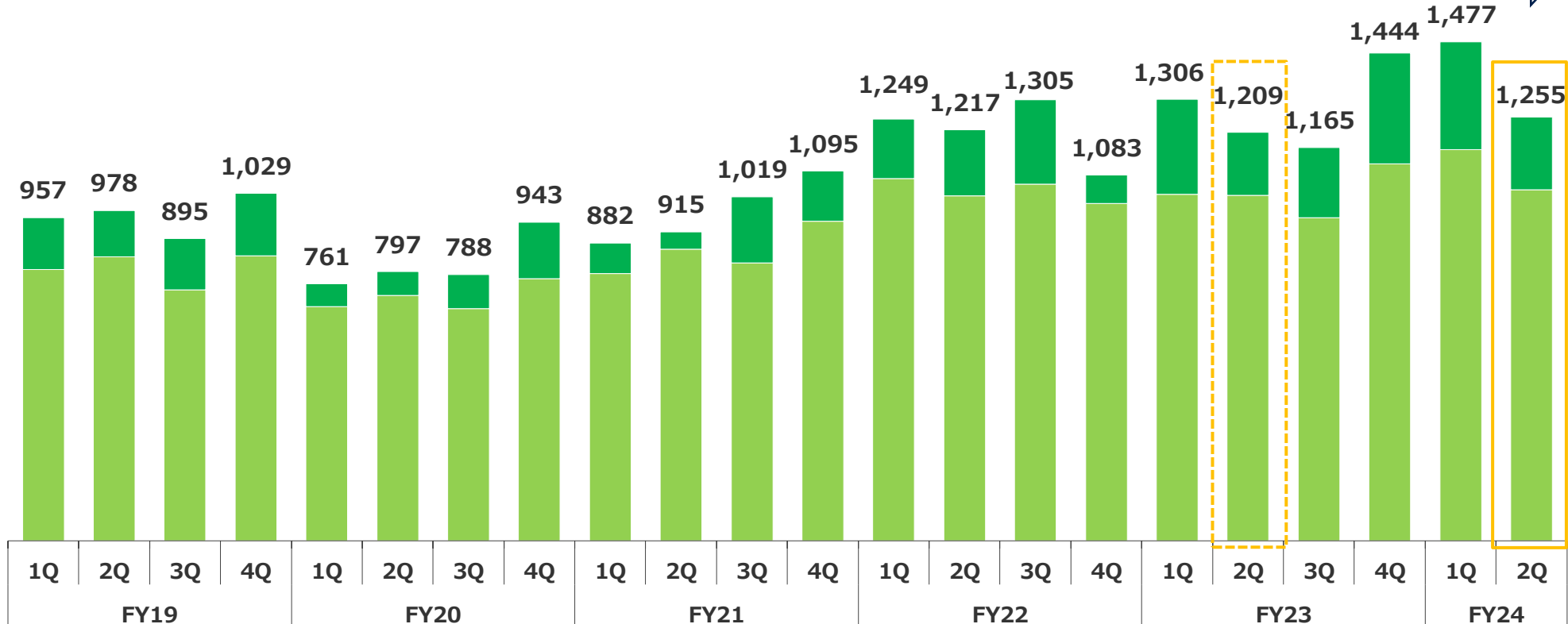
\*3MUS\$

■小口 ■大口

(億円)

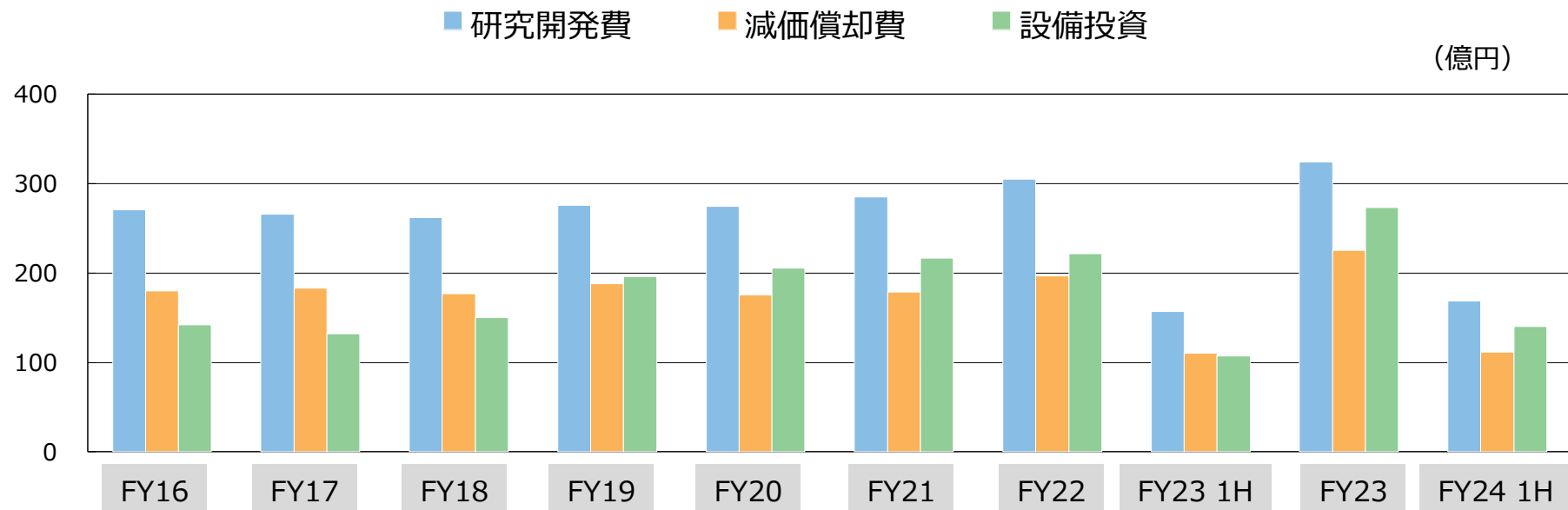
1,600  
1,400  
1,200  
1,000  
800  
600  
400  
200  
0

FY20から新セグメントの数字に変更



US\$	FY19				FY20				FY21				FY22				FY23				FY24	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
	109.67	107.67	109.37	109.11	107.52	105.25	104.10	107.15	109.43	110.44	114.11	117.79	131.25	139.35	140.43	133.44	139.63	145.58	146.14	149.88	158.15	146.66

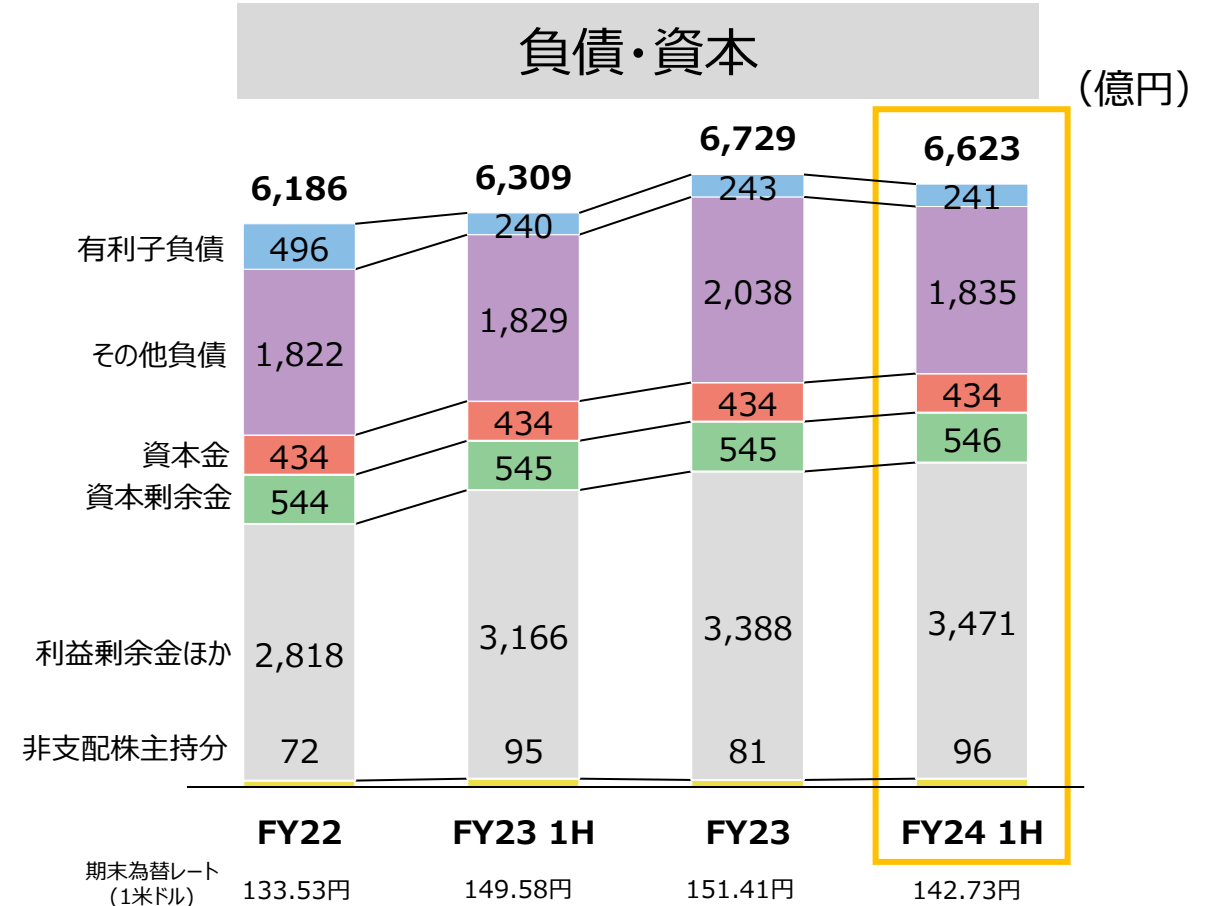
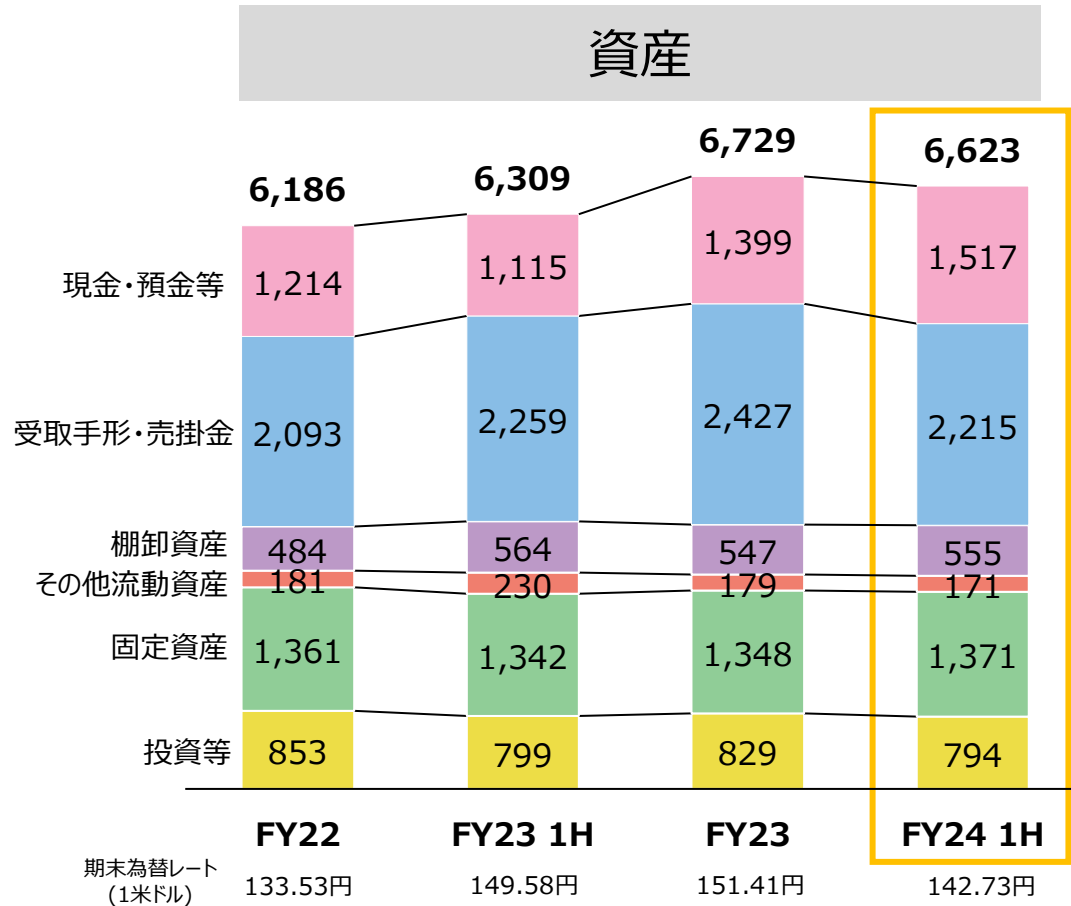
# 補足：研究開発費・減価償却費・設備投資



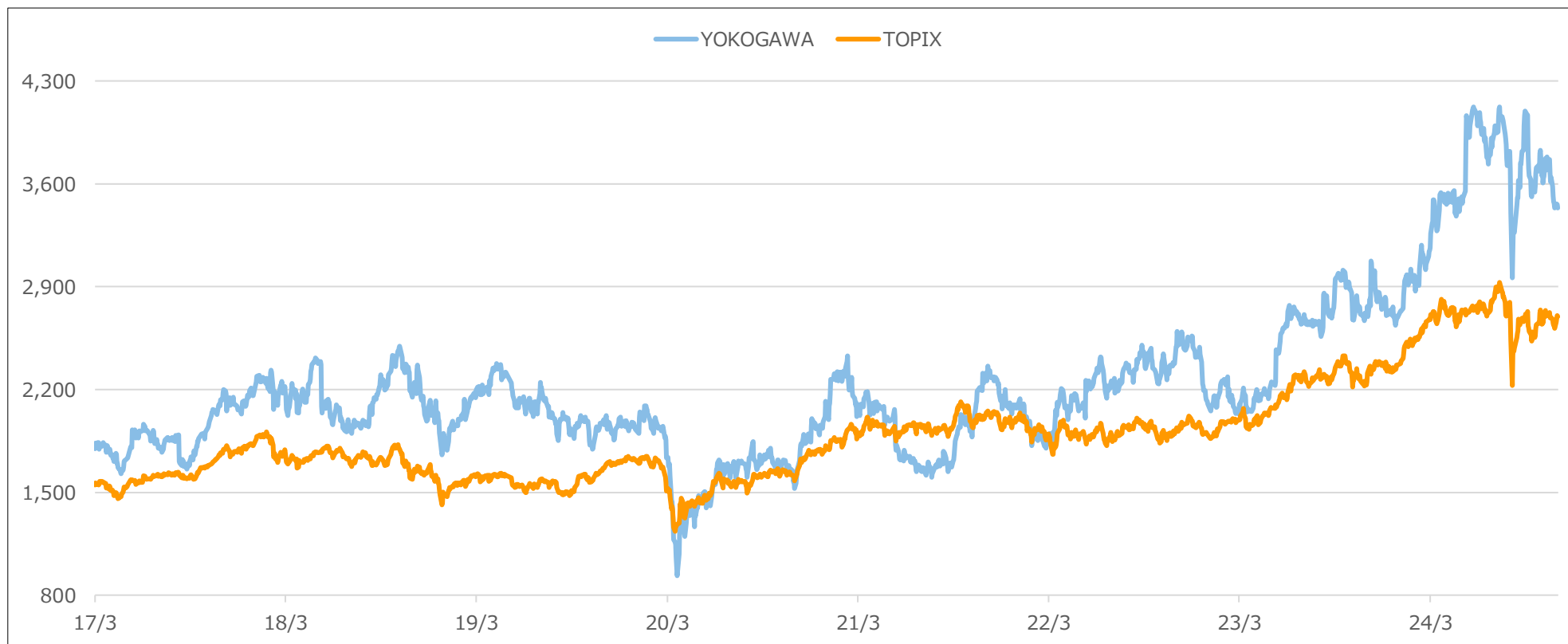
	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23 1H	FY23	FY24 1H
研究開発費 (対売上高比率)	6.9%	6.5%	6.5%	6.8%	7.3%	7.3%	6.7%	6.2%	6.0%	6.3%
減価償却費 (対売上高比率)	4.6%	4.5%	4.4%	4.6%	4.7%	4.6%	4.3%	4.3%	4.2%	4.2%
設備投資 (対売上高比率)	3.6%	3.2%	3.7%	4.9%	5.5%	5.6%	4.9%	4.2%	5.1%	5.3%

※FY19よりIFRS第16号（リース）を適用

# 補足：貸借対照表



# ご参考：株価の状況



(¥)

	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/10/31
YOKOGAWA	1,752	2,198	2,291	1,303	2,038	2,099	2,150	2,651	2,889	2,689	3,494	3,890	3,655	3,436
TOPIX	1,512	1,716	1,592	1,403	1,954	1,946	2,004	2,289	2,323	2,366	2,769	2,810	2,646	2,696

2025年3月期 第2四半期

現状認識  
「Growth for Sustainability 2028」  
取り組みの状況

奈良 寿

取締役 代表執行役社長

2024年11月5日

# 現状認識

## 環境負荷低減、生産性向上、省人化、セキュリティへのお客様投資意欲は高い エネルギー関連の需要好調/素材産業の投資回復は想定より弱い

地域

**中東:** 旺盛な投資意欲は継続。DXなど生産性向上案件も活況。情勢緊迫化の影響は要注視 **インド:** 投資案件は活発だが、競争激しい  
**北米:** ベースやや弱い。大統領選・金利調整のタイミングなどを注視し、大型案件も慎重な動き  
**中国:** 需要低調は継続 **欧州・東南アジア:** ベースは横ばいで安定。大型案件の動き少なめ **日本:** 緩やかな回復

業種

**Upstream・Downstream:** 中長期に見込まれるガス需要が投資を牽引。CCSなど脱炭素案件も増加  
**Renewable:** 水素・アンモニア案件引合活発。特に欧州地域の水素が本格化  
**Water:** 再生水、配水・漏水管理など、人口増や気候変動を背景に投資意欲は堅調  
**Chemical:** 回復進みつつある **Mining:** 鉱物資源や肥料等においてDX及び環境負荷低減を含めた需要が増加  
**Pharma, Food&Beverage:** 人口増等によりマーケットは安定感。品質向上などプロセス高度化への投資意欲は堅調



リスク

- ・インフレによる採算性悪化、投資意欲減退
- ・中国経済の停滞継続
- ・中東情勢の悪化

海外売上高比率	
FY23 1H	75.6%
FY24 1H	75.3%

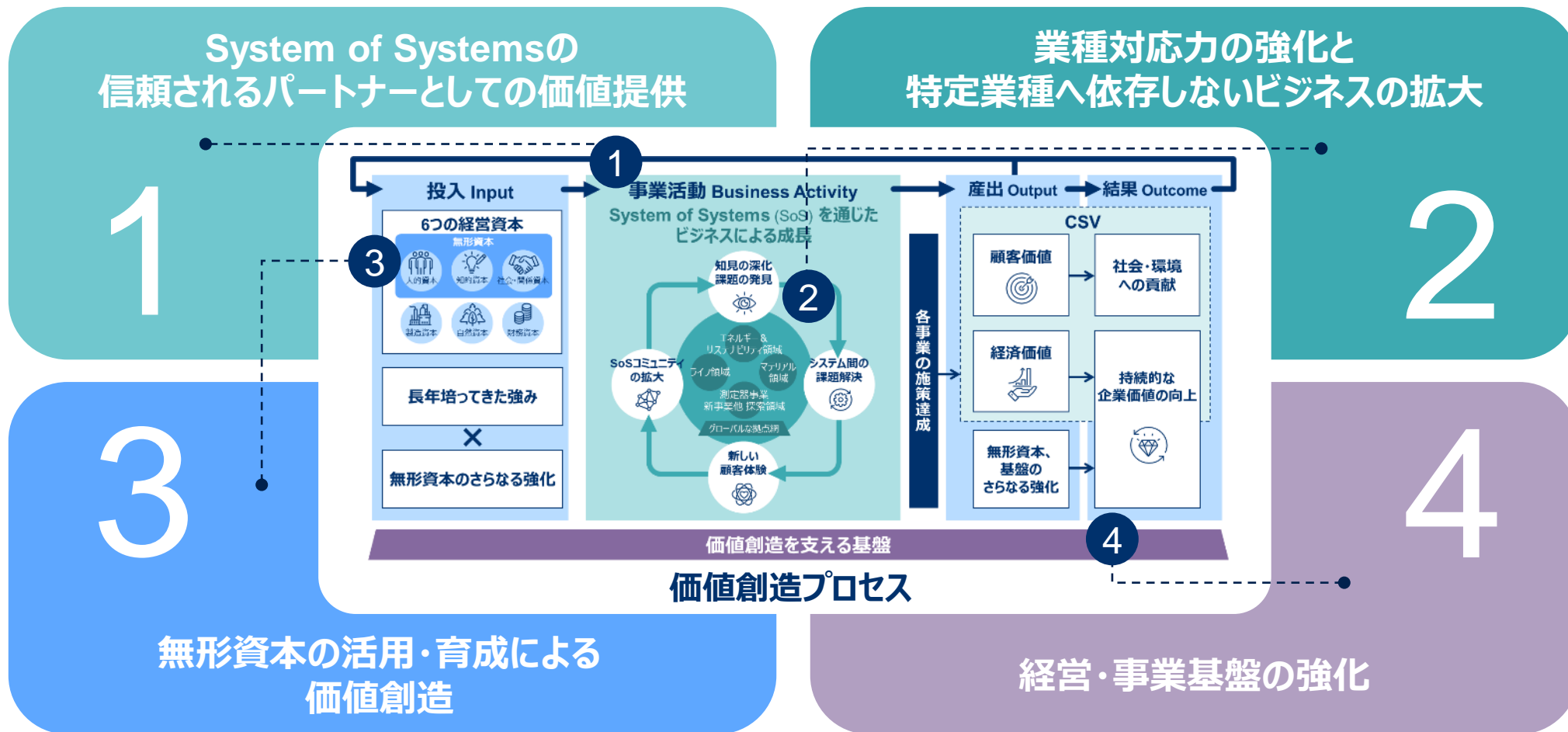
# *Growth for Sustainability 2028*

## 取り組みの状況



# 価値創造プロセスを実現するための基本戦略

## Growth for Sustainability 2028





ロッテルダム港のコンビナート（写真提供：ロッテルダム港湾公社）

## ロッテルダム港湾公社との脱炭素に向けた産業間連携 1年間の大規模なパイロット運用へ

- コンビナートの製造事業者間でエネルギー電気、蒸気、熱、水、産業ガス（水素、二酸化炭素等）の需給最適化と有効利用により、コストとCO<sub>2</sub>排出削減を目指す
- パイロットでは港湾の産業クラスターの企業6社と2つのグリッドオペレータが参加。複数のユーティリティの使用と交換を企業間で調整するオーケストレーションプラットフォーム構築を目指す

## CrossWind洋上風力発電所内のグリーン水素プラント 「ベースロード・パワー・ハブ」向け統合制御システムを受注

- 「ベースロード・パワー・ハブ」はオランダ沖のHollandse Kust Noord洋上風力発電所に建設され、メガワット規模の電解装置を用いて同発電所の余剰電力を使ったグリーン水素を生成、貯蔵するパイロットプラント
- YOKOGAWAは統合制御システムとエネルギー制御システムを提供。SoS（System of Systems）のコンセプトに基づいた費用効率の高い自動制御の実現を目指す

## 再生可能エネルギービジネス拡大に向けBaxEnergy社を買収

- ✓ 再生可能エネルギーの設備を監視し、発電効率を最大化するREMS\*を獲得
- ✓ 再生可能エネルギー・大手電力の優良顧客を獲得
- ✓ リカーリング型のビジネスを拡大



シチリア州のBaxEnergy Italiaにあるリモートオペレーションセンター

### BaxEnergy社の特長

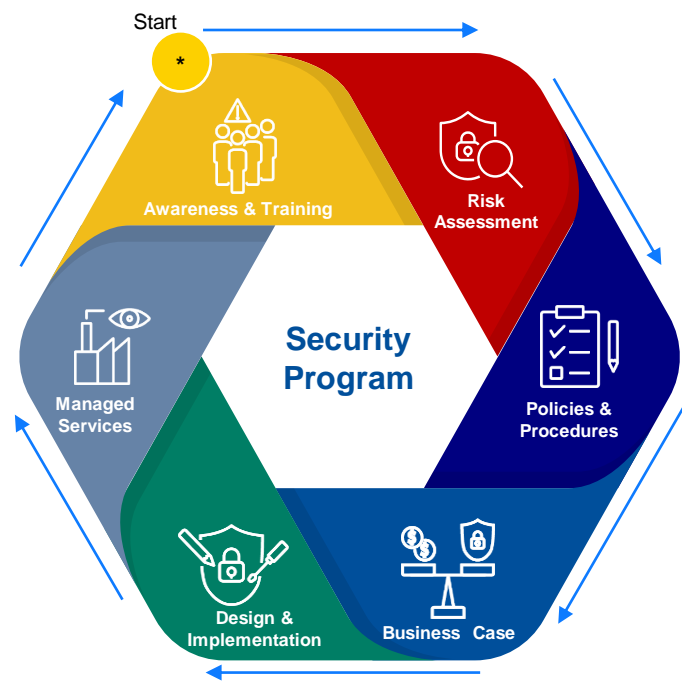
- 世界40か国に展開、欧州のAPM\*\*市場でトップクラスの実績
- 設備容量120ギガワットの実績
- 多様な再生可能エネルギーのリソースをクラウドで統合管理  
柔軟性・拡張性に優れる
- BaxEnergy社のネットワークオペレーションセンターから  
ユーザーの運用状況を24時間監視・サポート

\*REMS: Renewable Energy Management Solutions

\*\*APM: Asset Performance Management

## あらゆる業種に対応「サイバーセキュリティソリューション」好調

プラントや工場でのOTとITの統合が進み、サイバーセキュリティリスクが増大  
ご相談件数は増加しており、FY24受注は100億円超の見通し



### YOKOGAWAのサイバーセキュリティソリューションの特徴

- ✓ 包括的なセキュリティプログラム
- ✓ お客様のプラントを7days/24H監視
- ✓ YOKOGAWAのエキスパートがインシデントに迅速に対応



## あらゆる業種に対応「OpreX Carbon Footprint Tracer」発売

YOKOGAWAの強みを活かし、OTデータをIT系エンタープライズシステムに統合し、サプライチェーン全体でEU法規に準拠した、実績値ベースの製品毎カーボンフットプリント（CFP）を算出するクラウドサービス

### Challenge

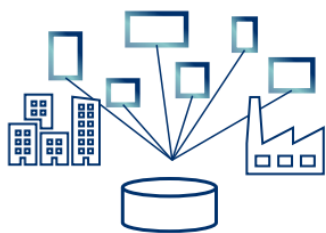
2026年のEU炭素国境調整メカニズム（CBAM）の本格適用に備え、理論値ベースのフットプリントから実績値ベースへの切り替えが必須

### Solution

センサーからの実績値収集  
およびSAP SFM\*へデータ連携する  
クラウドサービス

### Effect

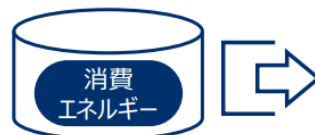
各国や地域の法規に準拠した  
製品別のカーボンフットプリントを生成し、  
可視化による改善活動の推進



実績値を収集



製品毎の消費エネルギー割当



SAP連携用データ出力



消費エネルギー可視化

\* SAP SFM : SAP Sustainability Footprint Management

SAP データ収集 ▶ 計算 ▶ カーボンフットプリント生成

## Net-zero Emissionsの実現に向けて YOKOGAWAができること

今できること  
今の現状を把握して  
脱炭素実行計画を  
立てましょう

今を把握し、  
未来を考える  
アセスメント・  
コンサルティング

コスト削減と  
エネルギー転換を  
両立させる設備管理を  
しましょう

設備全体の  
脱炭素・  
エネルギー転換

規制に柔軟に対応し、  
省エネと脱炭素化を  
同時に達成して  
いきましょう

製品単位の  
脱炭素・省エネ

将来の技術革新を  
見据えて  
今から準備して  
いきましょう

将来に備える  
新技術への  
取り組み

工場と本社をつなぐ  
Smart & Sustainable

## 測る力とつなぐ力で、 地球の未来に責任を果たす。

**Utilizing our ability to measure and connect,  
we fulfill our responsibilities for the future  
of our planet.**

「測る」は、YOKOGAWAの原点であり起点です。ものごとを測り、今ある状態をとらえ、見通し、そこから導き出される情報に価値を見出してきました。また「つなぐ」は、YOKOGAWAが価値ある情報を結びつけるだけではなく、さまざまな産業におけるお客様との信頼関係を築き、企業と企業、産業と産業の結束点となって、さらに価値を共鳴させていくことを意味しています。

「測る力とつなぐ力」はYOKOGAWAが決して失うことのないコアコンピタンスです。その力を今日の社会課題の解決に生かし、人と地球が共生する未来をかなえたい、そうした思いを「地球の未来に責任を果たす」というコミットに込めました。

## 参考資料

- ・トピックス
- ・採用されているESG関連インデックスなど



# ご参考：FY24 トピックス（提携・買収／新製品・ソリューション）

※日付は発表月です

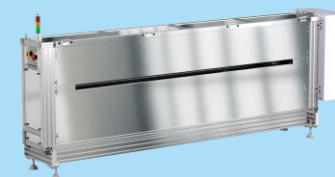
※詳細はウェブサイトをご覧ください <https://www.yokogawa.co.jp/news/>

## 提携・買収

- 4月 横河電機とアイルランドのGridBeyondが資本提携  
～電力取引と製造エネルギーコンサルティングをワンストップで提供～
- 6月 再生可能エネルギー監視ソリューションをもつBaxEnergyを買収  
～世界40か国 再生可能エネルギー発電の設備容量合計120ギガワットの実績～

## 新製品・ソリューション

- 4月 統合生産制御システム「CENTUM VP」を機能強化  
～産業ネットワークへの対応を強化し、プラントの稼働率、操業効率の向上へ貢献～
- 6月 横河計測がAC/DCスプリットコア電流センサー「CT1000S」を開発・発売  
～自動車向けなど広帯域、大電流測定が必要なアプリケーションを支援～
- 9月 軽量かつ低消費電力な電池電極WEB厚さ計「OpreX Battery Web Gauge ES-5」を開発・発売  
横河計測がコンパクト型高分解能オシロスコープ「DLM3000HD」シリーズを開発・発売  
～自動車向けをはじめとする次世代パワーエレクトロニクスの開発効率向上を支援～



電池電極WEB厚さ計  
「OpreX Battery Web Gauge ES-5」

## その他

5月 新中期経営計画「Growth for Sustainability 2028」を策定  
～Yokogawa's Purposeのもとに、環境・社会・ガバナンスの視点で事業活動に取り組み、社会価値と企業価値の向上を実現させるための変革を加速～

経済産業省、東京証券取引所および独立行政法人情報処理推進機構が選ぶ「DX銘柄2024」に選定

7月 Verdantix社、アセットパフォーマンス管理ソフトウェアにおける「リーダー」と横河電機を評価

8月 「インベスターガイド2024」を発行

9月 「YOKOGAWAレポート2024」を発行

「YOKOGAWAサステナビリティレポート2024」を発行

 **DX銘柄2024**  
Digital Transformation



YOKOGAWAレポート2024



YOKOGAWAサステナビリティレポート2024

# ご参考：YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

2024年10月現在

DJSI-World Index  
DJSI-Asia Pacific Index  
FTSE4Good Index Series  
FTSE Blossom Japan Index  
FTSE Blossom Japan Sector Relative Index  
MSCI ESG Ratings AAA  
MSCI ESG Leaders Indexes  
MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数  
MSCI 日本株 女性活躍指数  
ISS ESG - ESG コーポレートレーティング Prime  
Sustainalytics Top-Rated ESG Regional Performer  
CDP気候変動・水セキュリティ アリスト  
CDPサプライヤー・エンゲージメント・リーダー  
SNAMサステナビリティ・インデックス  
S&P/JPXカーボンエフィシエント指数  
EcoVadis サステナビリティ調査 シルバー  
Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

**2024** MSCI ESG Leaders  
Indexes Constituent



**2024** CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

**2024** CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



**FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index**

ESGインデックス、社外からの評価の詳細につきましては、当社ウェブサイトをご参照ください。  
<https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の用件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

## 横河電機株式会社

IR部

Email : [Yokogawa\\_Electric\\_IR6841@cs.jp.yokogawa.com](mailto:Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com)

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>

Co-innovating tomorrow™

